

第6回「あいのうた～出会いから子育てまでの短歌コンテスト～」受賞作品一覧

1 最優秀賞（各部門1首）

一般の部	乗り慣れた スポーツカーを 手放して ベビーカー押し 父となりゆく 東京都足立区 <small>おの ふみ</small> 小野 史
ジュニアの部	クラス写真 心の中で トリミング ぼくのカメラには 君しかいない 静岡県立科学技術高等学校2年 <small>ますだ ゆうり</small> 増田 悠里

2 優秀賞（各部門2首）

一般の部	好きな子の方ばかり向く 我が息子 恋覚えたての若き向日葵 東京都大田区 <small>かみみつ かがき</small> 神光 輝紀
	子育てはミシンの使い方に似て まっすぐ進めと手を添えるだけ 徳島県阿南市 <small>ぼんどう のりこ</small> 坂東 典子
ジュニアの部	お散歩は園児の歩幅に合せつつ この手に包む ぷよぷよの指 静岡市立清水第四中学校2年 <small>ちのね まお</small> 茅根 麻央
	カンパニユラ 花言葉は「ありがとう」 身近な人ほど 渡せない花 静岡県立科学技術高等学校2年 <small>しかま</small> 鹿間 くるみ

3 審査員特別賞（各部門2首）

一般の部	さあ今だ 君のオセロに 白を置け 過去の思い出 みな裏返せ 神奈川県横浜市 <small>なかむら わかこ</small> 中村 和日子
	腹ばいで ミニカー操る 幼子は 小さき国守る ガリバーのよう 富山県射水市 <small>うらかみ のりこ</small> 浦上 紀子
ジュニアの部	段々と 祖母の記憶は 落ちてゆき 残ったものは 花のようだった 静岡県立科学技術高等学校3年 <small>わかやま けんじろう</small> 若山 健次郎
	青の上 静かな水面を 走る船 オールが入る 瞬間が好き 静岡県立天竜高等学校3年 <small>なかやま あやか</small> 中山 彩花

4 入選

<一般の部>

「おばあちゃんが してくれたように 育児する」 姪の言葉に 生きている母 東京都武蔵野市 ^{おおつき} 大槻 さゆり
あかちゃん できなかつたねと いつどんな にけんかしたかを だれもわからない 秋田県湯沢市 ^{すが やよい} 菅 弥生
つなぐ手を大通りに出て子はほどき 離れ行くなり八歳の春 宮城県仙台市 ^{むらおか みちこ} 村岡 美知子
仕事部屋ちらちら覗きさながらに 小リスのごとし空き腹の吾子 大阪府大阪市 ^{たじかわ のりこ} 多治川 紀子
田んぼのサギ オンブのバッタ ハゲの人 君は「見れたらラッキー！」がいっぱい 愛知県豊田市 ^{しばた あや} 柴田 彩
「うれしすぎる」「すごーくおいしい」太文字の ことばあふれて背伸びする春 青森県八戸市 ^{わいた せつ} 和井田 勢津
今宵また子が巡らせるバリケード 「工事中」の道を迂回す 兵庫県神戸市 ^{やまもと} 山本 みさよ
講堂に入り来る娘らは磨かれし 銀の匙のごと整列したり 兵庫県芦屋市 ^{とん かずみ} 湯 一美
飛行機を目ざとく見つけるその訳は 見上げたそこに母をみている 京都府京都市 ^{きしもと あつみ} 岸本 麻津美
ズル休み ママは仮病と知りながら やさしい味のおじやをつくる 千葉県匝瑳市 ^{うの ひなこ} 宇野 日向子
児の頬をうちしその故忘れてたり されど古希でも痛む心よ 千葉県四街道市 ^{うえた のりこ} 上田 紀子
「やめてね」ということすべてし尽くして 二歳は手を振り帰っていった 神奈川県横浜市 ^{まつむら みちこ} 松村 美知子
あの頃は 大変だったと 振り返る 手のかかる子で 倍楽しめた 静岡県静岡市 ^{おさだ まさたか} 長田 雅孝
「ンマッ、マア！」不意に言霊宿り来て 「意味」立ち上がる 我を呼ぶ声 神奈川県藤沢市 ^{まつした} 松下 まき
二人して始めた暮らし振り返り また二人から始める暮らし 東京都小平市 ^{こばやし のりゆき} 小林 紀行

<ジュニアの部>

あの人は 他人にとっては 普通でも 僕にとっては 大切な存在 静岡県立天竜高等学校春野校舎 2年 菅沼 希
弁当を 差し出す母の 手に触れて ハンドクリーム 買った母の日 東京学館新潟高等学校 3年 栗田 岳
やめてくれ夜空ばかり見てるのは 星があなたに恋をするから 岐阜県立飛騨神岡高等学校 2年 上ヶ平 渚
不登校久々に行き会う友人 以前のように話せてうれしかった 静岡県立静岡中央高等学校 3年 石川 真太郎
団体戦 うしろにいるのは仲間たち みんなのために 一本とろう 静岡県立湖西高等学校 2年 川上 未唯
横向くと いつも前歯が 光ってる 毎日笑顔を くれる友達 静岡県立湖西高等学校 2年 片岡 亜弥
手術して 無理して笑う 祖母のため 遠回りして ザクロを買った 静岡県立藤枝北高等学校 2年 坂上 未紗
ねえばあば 昔わたしに 言ったよね 愛は自分を 変えるんだって 静岡県立天竜高等学校 1年 小田 卓人
本当の気持ちをあなたに伝えたい ありのままってどんなふうだろう 静岡県立科学技術高等学校 3年 石関 優樹
電気基礎 日が暮れるまで 向き合った 僕を育てる 宝の教科 静岡県立科学技術高等学校 3年 村田 竜嶺
手を合わせ 耳を澄ませば 日暮らしの 声に混じりて なつかしき声 静岡県立科学技術高等学校 1年 岡村 歩璃
手を繋ぐ 二人の上を 赤とんぼ このままずっと 離したくない 静岡市立清水第二中学校 2年 松島 依緒
アルバムの ページをめくり 思い出す 妹とつなぐ 洋服のボタン 磐田市立田原小学校 5年 原 弥桜
ねずみ年 生まれた時は 三.九キロ ひとまわりして 三十九キロ 磐田市立田原小学校 6年 竹村 心護
エンジンを組んだぼくらのかけ声は 仕事で来れない母さんにとだけ 山口県光市立光井小学校 3年 横道 玄